

重点目標 表現活動において主体的に学習に取り組み、豊かな感性を育成する。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第2学年	<p>◎表現領域において何ができるようになるか、という視点から 表現学習において、特に能力が高く、合唱・歌唱などについて意欲的に取り組む生徒が多い。学校全体の特徴とも言える。その長所をさらに伸ばし、より良い曲に仕上げるために、リーダーの育成や生徒同士の話し合い活動などを増やし、歌唱表現をより創意工夫できることをねらいとする。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる、という視点から 楽譜を見てすぐに歌える生徒と難しい生徒がいるので、意欲に差が出る時がある。</p> <p>器楽（ギター）の授業では、お互いに声をかけ合い、創意工夫して、程度の差があっても、楽しめるようにする。</p> <p>◎生徒の授業アンケートの結果の視点から 自分の歌唱の力を知りたいという意見がある。</p>	<p>学校経営方針の、できる喜び、伸びる喜び、集う喜びを実現させるために、音楽学習も意欲、演奏する力、聞く力を伸ばしていけるように、総合的に学習させたい。そのために、リーダーを中心としたグループ学習に取り組み、対話的学びの中で、互いに創意工夫する。また、自分の属するグループだけでなく、他の様子も知ることで、さらに全体の向上をめざす。</p> <p>合唱の授業では、毎時間個人の目標をたて自己評価をし、次へつなげるようにする。</p> <p>ペアで学習することにより、お互いに声をかけ合い創意工夫して、程度の差があっても楽しめるようにする。</p> <p>自分の歌唱の力を知りたいというので、実技テストはもちろんのこと、チャンスがあるごとにアドヴァイスしていく。</p>	<p>合唱コンクールの楽曲学習、指揮の勉強、基礎学習を通して、さらに表現力が伸び、意欲、理解力ともに大きく伸びている。お互いを聴き合うということから、鑑賞する力も伸びている。</p> <p>自己評価をして、教員とやりとりをしながら、さらに自分を高めようとする目標が出来ると良い。</p> <p>楽曲によりペアを替えたり、ヴォーカルを担当するなどして、幅広い音楽のジャンルに取り組む。</p> <p>生徒個人からの要望があれば、昼休み等の時間に歌唱レッスンをする。また、有志合唱への参加も呼びかけ、発展学習へとつなげる。</p>	

--	--	--	--	--